



郡山市・福島大学連携事業

「令和6年度福島大学食農学類農学実践型教育プログラム郡
山・猪苗代フィールド成果報告会」を開催します。
～食農学類3年生による活動成果報告～



ターゲット 2.4

2025年1月22日

郡山市農林部

農業政策課

課長 佐久間 守隆

TEL：924-2208

SDGs ターゲット 2.4 「災害に対する適応能力を向上させ、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する」

福島大学食農学類と郡山市の連携事業の一環として本市の食と農に関する課題に一年を通して取り組む「農学実践型教育プログラム」。郡山市(郡山フィールド)と猪苗代町(猪苗代フィールド)にて食と農の実践研究を行った食農学類3年生が、今年度の活動成果を報告します。

- 1 日 時 1月31日(金) 午後4時30分～午後6時45分
- 2 会 場 市役所特別会議室(本庁舎2階)
- 3 活動内容 郡山フィールド ①商品開発を通じた市産農産物の魅力発信
②アグリテックを用いた新規就農者の営農定着への取組
猪苗代フィールド ①町産農産物の認知度向上
②町産農産物を用いた6次化商品開発
③里山保全、鳥獣害対策等の地域づくり
- 4 対 象 どなたでも参加いただけます。(参加無料。要事前申込)
- 5 申込方法 下記ウェブサイトをご覧ください、電話、メール、FAX 又は申請フォームでお申込みください。

ウェブサイト URL：<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/111/46848.html>



<福島大学食農学類 農学実践型教育プログラム>

学生と教員をメンバーとして地域の食と農に関する課題に取り組むプログラムで、県内7自治体で実施されています。

<福島大学と郡山市における農業に関する連携>

郡山市は、2013年に福島大学経済経営学類・大学院経済学研究科と連携協定を締結、その後2019年4月1日開設の福島大学食農学類と連携協力に関する覚書を締結しております。公開授業の開催、学生と教員をメンバーとして食品や土壌、アグリテック等の問題を最先端のテクノロジーを駆使する「アグリ・フードテック」の観点から実践研究を行う農学実践型教育プログラムを実施するなど、農業や食品産業等の発展及び振興に向けた取組みをしております。

郡山市・福島大学連携

福島大学公開授業
食農学類農学実践型教育プログラム

郡山・猪苗代 フィールド成果報告会

福島大学食農学類では地域を舞台とした地域農業の活性化のためのプロジェクトに取り組んでいます。郡山市(郡山フィールド)と猪苗代町(猪苗代フィールド)で活動を行った食農学類4期生(3年生)が令和6年度の活動成果を発表します。

郡山フィールド



郡山フィールドの活動内容

- ・商品開発を通じた市産農産物の魅力発信
- ・アグリテックを用いた新規就農者の営農定着への取り組み

猪苗代フィールド



猪苗代フィールドの活動内容

- ・町産農産物の認知度向上
- ・町産農産物を用いた6次化商品開発
- ・里山保全、鳥獣害対策等の地域づくり

開催日時 2025年1月31日^金 16:30~18:45

会場 郡山市役所 本庁舎2階 特別会議室
(郡山市朝日一丁目23番7号)

対象者 農業者、食品関連事業者、学生、一般の方など
どなたでも参加できます。

参加料 無料(事前申込制)

申し込みは
こちらから



郡山市(郡山フィールド)の活動について

郡山フィールドのテーマは、食農都市郡山を次代につなぐアグリ・フードテックです。郡山市は安積疏水から流れる清らかな水や保肥力の高い粘土質の土地など農業に適した環境を有し、米や鯉を始めとした美味しい農産物が多く実る場所です。しかしながら魅力的な農産物がある中でブランド化の途上にあるものも少なくはなく、背景には担い手不足や技術継承の有無、情報の発信不足などが挙げられます。私たちのプロジェクトではこの点をアグリ・フードテック(※)の分野から着目し、スマート農業を活用した新規就農者の育成・支援や市農産物の商品開発を通じたブランド化など、学生たちがさまざまな活動にチャレンジしています。市役所や生産者、食品事業者の協力をいただきながら、郡山市の食と農を盛り上げることをめざして活動しています。

※…最先端のテクノロジーを駆使して食や農に関する問題を解決すること



猪苗代町(猪苗代フィールド)の活動について

猪苗代町は、磐梯山、安達太良連峰、吾妻連峰の秀峰に囲まれ、南には猪苗代湖があり豊かな緑や清らかな水に恵まれています。医聖「野口英世」博士の生誕地であり、観音寺川の桜、天鏡閣、土津神社など多くの名所旧跡や多くの温泉を有する観光地です。自然を利用したウォータースポーツ、ウィンタースポーツも盛んです。米、そば、大豆、トマト、アスパラ、トルコキキョウ、カラーなどの特産農産物もあります。一方、少子高齢化、人口減少、人材流出、担い手不足など、地方によくある問題を抱えています。これらを踏まえ学生たちは猪苗代町の「食品と農業に係る課題」を自由に見つけ、自ら解決案を探します。4グループに分かれ、現状の町の強み、弱みを詳細に分析して、ターゲットを絞り、選ばれた課題がどうすればより良くなるかを議論しながら現場で活動を進めています。



※都合により、日程、内容等は変更となる場合があります。

第3回福島大学公開授業 参加申込書

電話やFAX、メールでお申込みください。

電話:024-924-2201 FAX:024-938-3150

メール:nougyouseisaku@city.koriyama.lg.jp

QRコードによる
申し込みは
こちらから



参加人数		計	名
参加者氏名 (全員)		代表者	
電話番号	代表者		
住所			
会社名、団体名、学校名等(任意)			